

かんのん劇場に、歌のソロコンサートが初めて登場します！

モンデンモモさんはいま一番のっている歌い手さんのひとりです。昨年ライブを聴かせて頂き、すぐにこのかんのん劇場への出演を依頼したところ、快諾して下さいました。今回はライフワークの「智恵子抄」はじめ、モンデンさんのお好きな歌を、ギターの田嶋さんの伴奏で歌って下さいます。またトークもとても味があり、歌への熱い思いを語って頂きながらのコンサートを是非お楽しみ下さい。なお席には限りがありますので、お早めのお申し込みをお待ち申し上げます。

かんのん劇場支配人 見城 宗忠

高村光太郎の詩集「智恵子抄」に曲をつけて歌う。精神を病んだ末に病死した妻・智恵子への純愛がつづられた詩を、しっとりとした曲にのせて歌い上げる。

20年前、弟が心の病になり、自殺した。25歳。今でいう統合失調症だった。何も手につかない日々が続いた。その1年後、目に留まったのが智恵子抄だった。

「弟と同じような病だった智恵子は、何を考え、思っていたのか」。繰り返し読むうち、「智恵子は東京に空が無いといふ、ほんとの空がみたいといふ」で知られる詩に、口ずさみで最初の曲ができた。

『文芸ソング』と言われていますが、そんなつもりはありません。自分のために作っていたら、みなさんにも喜んでもらえるようになった」。

本名は門田百合子、東京都出身。劇団四季を経て歌手、作曲家、ミュージカルの演出などを手がける。05年には16曲をまとめた「モモの智恵子抄」を発表した。

(中略)

19年、歌い続け、読み続けてきた。最初は光太郎が智恵子を追い詰めたと考え、責めていた。今は生涯、1人だけを愛し続けた詩人だと思う。智恵子抄との出会いを運命だと感じ、2人の心情を追う旅を続ける

2009年10月5日 朝日新聞「ひと」欄より



作詞・作曲家・歌手 本名 門田百合子(もんでんゆりこ)

東京都世田谷区出身。日本女子大学付属高等学校卒業。

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。

日本シャンソンコンクール審査員特別賞受賞。劇団四季にて「キャッツ」出演。

柴田南雄天正少年使節史実オペラでは国内外で好評を博す。ローマ法王御前演奏。文部省スポレク島根'92開会式シンフォニー作曲。フジテレビドキュメンタリー番組音楽担当。

1989年の弟の死をきっかけに『智恵子抄』と出会い、メロディーをつけて歌い続けシンガーソングライターとして活動する。CDはハンガリー・ブタペスト録音。

ドイツハンブルグレコード会社より、日本の歌 ドイツの歌シリーズをリリース。ヨーロッパで発売。

2008年NHKラジオ深夜便、2009年朝日新聞「ひと」にて全国に「モモの智恵子抄」が紹介される。2010年菊人形展CMソング担当。作演出ミュージカル作品は多数。

日本音楽著作権協会会員 桐朋学園芸術短期大学講師 東京ビジュアルアーツ俳優科講師。モモミュージカルシアター主宰。ドレミ出版より モモ発声トレーニング本『しゃべれれば歌える』出版。

【ギター・田嶋道生】

東京生まれ

ギター・デュオ・グループ『ドゥーズ・コルデ』のギタリスト。

クラシック、ブラジルのショーロ、ピアソラなどの演奏で活動している。海外ミュージシャンとの共演も多く、エヴァンドロ、ネルソン・サルジェント、デオ・ヒアン、シェン・ヒベイロ、エンヒキ・カゼスなどのブラジル音楽アーティストとのツアー、レコーディング、各メディアなどに出演。また、ブラジルの伝統音楽“ショーロ”のグループ「ホーザ・ホーシャ」のメンバーでもあり、多くのアーティストの為のアレンジ、サポートも多彩である。ギター教本や曲集も手がけるなど幅広いジャンルで活躍中。